

年功序列の基本給に メスを！

(株)北見式賃金研究所 北見昌朗
平成25年1月



こんなことがあって良いのですか？

58歳（男性・勤務年数40年・高卒・現業職）は基本給30万円＋時間外手当10万円で賃金総額が40万円。賞与は基本給の3カ月分で90万円。年収は570万円。

35歳（男性・勤務年数5年・大卒・課長）は基本給25万円＋管理職手当5万円で賃金総額30万円。賞与は基本給の4カ月分で100万円。年収は460万円。



問題は基本給にある

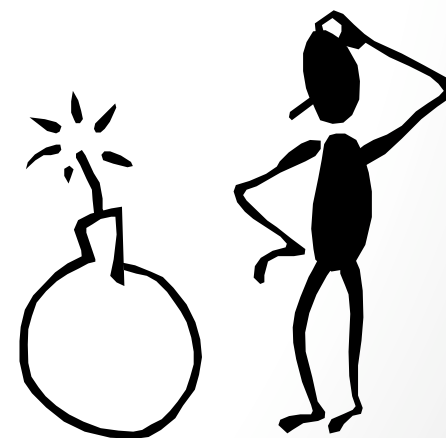
“過去の昇給”の累積が、現在の基本給になっている。

18歳で16万円が初任給だとすれば、複利計算で、55歳では次の金額になる。

3%時代→47万円

2%時代→33万円

1%時代→23万円



実質基本給はいくら？

(株)北見式賃金研究所の「ズバリ！ 実在賃金」によれば、実質基本給（所定内賃金から役職・家族・住宅・精勤・資格などの手当を除外したもの）は、一般男性社員で次の金額だった。平成23年6月の賃金を調査。

	30歳	40歳	50歳
愛知県	2 1 1	2 5 4	2 6 4
首都圏	2 2 1	2 4 8	2 6 8
関西圏	2 1 0	2 4 8	2 7 5

25万円未満が7割 30代男性

一般男性社員の基本給は『25万円』という金額を境目にして検証すると、そこには大きな年代格差がある。愛知県版のデータから。

30代	25万円以上	25万円未満
	30%	70%
50代	25万円以上	25万円未満
	61%	39%

賞与の見直し

賞与を計算する時は『みなし基本給』で行う。

一般社員の場合は『上限』を適用
基本給25万円を上限として計算する。その上で、
達成手当の相当額を控除する。

管理職の場合は『下限』を適用
30万円未満の基本給の場合は、30万円をもとに
計算する。その上で、業績が良い時は一般社員より
も月数も増やす。

冒頭の事例は賞与をこのように是正

58歳（男性・勤務年数40年・高卒・現業職）

基本給25万円×3カ月分＝賞与75万円

ただし達成手当5万円の分だけ控除するので賞与は「15万円」になる。

35歳（男性・勤務年数5年・大卒・課長）

基本給30万円×4カ月分＝賞与120万円